

3月定例議会 新年度の市政運営基本方針等を報告



市議会3月定例会が3月2日に招集され、24日までの23日間の会期で開かれ、上程された議案は、条例制定、平成18年度一般会計予算や各特別会計予算等の80件です。いずれも原案のとおり可決、承認されました。

新年度市政運営の基本方針

◆6分野の柱からなる施策◆

- ①行政の進め方
各種事業の計画段階から住民などによる「検討委員会」を事業ごとに設置します。
今後は、市民やボランティア団体と行政が連携する協働体制を強化し、「住民参加型のまちづくり」を推進します。また、住民等が自ら進んで取り組む地域づくりを支援する「協働のまちづくり補助金」夢いきいき21マイトウン事業」を今後も実施していきます。
- ②合併協定に対する取り組み
文化施設の早期建設を目指して市民などによる「文化施設建設検討委員会（仮称）」を設置し、建設場所を含めて具体的な施設整備の検討を進めます。
また、「総合発展計画」「国土利用計画」「地域福祉計画」を18年度中に策定し、「防災計画」は19年度の策定を目指し準備作業に入ります。
- ③安全・安心な暮らしと環境づくり
「防災計画」策定のための各種調査や市民会議を開催して市民の意見を反映します。
また、18年度には火山災害啓発のため「鳥海山火山防災マップ」を作成し、全戸配布します。道路整備は、「中野・前川線」

の調査、生活道路網整備は、「役場1・2号線」「釜ヶ台10号線」の改良を行います。

④豊かな地域福祉の実現
子育て支援に積極的に取り組み、高齢者が安心して生き生きと暮らせる環境づくりを進めるため、専任の部署を新設します。

⑤産業の育成と支援
19年度から新たに始まる「経営所得安定対策」に対応するため、秋田しんせい農協と連携し「集落営農」など経営体の強化を積極的に支援します。

観光振興は、5年後の年間観光客数を300万人に、宿泊客数30万人を目標に、中長期的な観光振興プランを策定する「観

平成18年度予算

平成18年度予算編成は、国の三位一体の改革による補助金の廃止や縮減、地方交付税の抑制や臨時財政対策債の削減の中で、行政改革の推進と健全財政の維持を基本姿勢としながら、にかほ市の基本理念である「夢あるまち」「豊かなまち」「元気なまち」の実現を目指します。産業振興や福祉の充実、教育

環境の整備など、真に市民が必要とするサービスの提供と向上を図るために、十分な成果や効果が期待できるものを重点化し、積極的な予算編成を行っています。また、合併効果の一つであるスケールメリットを生かし、経費の節減にも努めています。（数値等詳細については、5頁に掲載しています）

主な市政報告

◇災害対策本部

昨年12月からの数十年ぶりの大雪のため設置した「災害対策本部」は、本年2月17日に「警戒部」に移行しました。

災害対策本部設置中の除雪の依頼や苦情の件数は181件、町内会や集落が組織した「除雪支援チーム」の出動が9件、市役所職員による除雪チームの出動が3件でした。

また、農業施設の被害は、パイプハウスの倒壊が12件で504万5千円の被害額、ほかに作業小屋の倒壊が2件、車庫の倒壊が1件の報告がありました。除雪費は、2月20日現在で1億2500万円、78・2%の執行状況です。

◇慎重に検討

山形県庄内町の榎最上川ファームが、遊佐砕石工業が岩石を採取した跡地（横岡地内）30万平方メートルを取得し、養豚事業を行う計画の事前説明が市に対してありました。計画施設の下流域には、水道水の地下水源

があることや臭いなどが懸念され、市民の不安も大きいと思われるため、市としても慎重に検討しています。

◇国体

秋田わか杉国体の準備状況は、サッカー競技、空手道競技ともに順調で、国体開催1年前となる今年よりハイスル大会が行われます。

サッカー競技は、全国社会人サッカー選手権大会が10月13日から18日までの6日間、空手道競技は、東北高等学校空手道選手権大会が6月23日から25日までの3日間開催されます。大会運営にあたっては、多くの市民の皆さんの参加と協力をいただき、全国からの参加者を温かく迎え、また、ふれあいと友情の輪を広げ、にかほ市の文化や観光等を全国に紹介する機会にしたいと考えます。

◇農業関係

大雪によって被害を受けた農業施設の復旧は、農業関係制度資金を利用される農家に対して

は、秋田県とにかほ市、融資機関の3者が協調して利子負担が無いように助成します。

平成18年度産米の生産目標数量が配分され、にかほ市は、良質米生産に積極的に取り組んでいることが評価され、前年より202ト、率にして1・6%増の1万2、944トの配分です。なお、生産調整配分率は、仁賀保地域が27・6%、金浦地域が27・3%、象潟地域が29・9%です。

◇地区要望

平成18年度の地区要望を取りまとめたところ、67の町内会や集落から229件の要望があり、所管課ごとに検討を加え、2月6日付けで回答書を送付しましたが、課題解決に向けてさらに検討していきます。

◇観光

旧象潟・金浦・仁賀保の観光協会は、合併期日を平成18年6月1日とし、名称を財団法人にかほ市観光協会、事務所の位置をにかほ市象潟町に置くことを確認しており、市は側面からの支援を行います。

◇文化・史跡

本市の国指定史跡「由利海岸波除石垣」（飛地区、芹田地区）



未来に残したい漁業漁村の歴史文化遺産百選の「由利海岸波除石垣」

が水産庁の「未来に残したい漁業漁村の歴史文化遺産百選」に選定されました。百選は、都市と漁村の交流を深めるねらいで実施されたもので、ブルーツーリズム観光資源の一つになるものと期待しています。

◇教育

象潟中学校と給食協同調理場の建て替えに伴う用地3万7、500平方メートルの造成工事が完了しました。